

労務理論学会第8回全国大会、延べ90名の参加で、改革へ大きく前進

1998年度の全国大会は、5月29-31日に、同志社大学で開催され、統一論題「日本の雇用形態の変化」のもとに延べ90名が参加し、懇親会も約70名が参加して、盛況のうちに終わりました。

会員総会では、新入会員16名が承認されました。年報等在り方検討委員会（林正樹委員長）から、年報に自由投稿を加えて、レフリー制を導入し、若手研究者育成のための学会奨励賞設定を考えていること等が報告されました。10周年記念事業検討委員会（渡辺峻委員長）からは、2年後に向け、記念講演、出版、ホームページ開設などを検討していることが報告されました。

労務理論学会が一段と飛躍する転機を迎えていることを感じさせる大会でした。来年度は、北海道の、東京農業大学オホーツク・キャンパスで開催され、期待が増しています。今大会にご協力頂いた報告者・司会者諸氏、同志社大学実行委員会および同志社大学に厚く御礼申し上げます。

「年報等在り方検討委員会」の改革案の具体化について

この度、理事会の討議により、事務局に多くの学会業務が集中しているため、第9号の年報から、年報の刊行作業を「年報刊行委員会」に移管することを決定し、委員長に、林昭理事が選出されました。委員（任期1年）には、田中和雄幹事、黒田兼一幹事、上田慧幹事（事務局担当）が選出され、すでに原稿の依頼などの作業をすすめております。

学会ホームページ作成に向けて作業開始

理事会では、労務理論学会の情報発信をいっそう強めるため、浪江巖理事を委員長に、伊藤健市幹事、関口定一幹事を委員に選出し、当学会のホームページ開設に着手しました。

1998年度会費納入のお願い

1998年度会費の納入をお願いいたします。同封の会費納付状況をご確認の上、お手数ですが、同封の郵便振替「払込取扱票」をご利用の上、お早めに納入されますよう、お願い申し上げます。

学会の活性化を進めるために、長期滞納を一掃し、財政基盤を強化することが不可欠です。厳正を尽くしたつもりですが、なお、ご不明な点がございましたら、事務局にお問い合わせください。

ご案内：シンポジウム「経営学—その100年と21世紀へのあり方（第1回）：経営学の分化と統合」

主催：日本学術会議 経営学研究連絡委員会

日時：1998年11月19日（木）13:00～17:30

会場：日本学術会議大会議室（2階） 地下鉄千代田線乃木坂駅下車

〒106-8555東京都港区六本木7-22-34

TEL.03-3403-5706

<会員住所録（研究年俸第7号掲載）確認のお願い>

会員諸氏の現住所・所属の変更、ご逝去などは、事務局のみでは把握できない面があります。年報第7号末尾掲載の住所の変更や、誤りなどお気づきの点がありましたら、振込用紙の通信欄、FAXなどで是非、事務局までご一報下さい。ご協力をお願いいたします。

連絡先(事務局担当上田)：研究室 075-251-3695

E-mail:saueda@mail.doshisha.ac.jp

自宅TEL.0721-20-2260 FAX.0721-20-2259

E-mail:fwhg0688@mb.infoweb.or.jp

H.P.080-98-56972

日時：1999年6月25・26・27日（金～日）

場所：東京農業大学オホーツク・キャンパス

※ 開催校の準備進む！ 学会報告への積極的な応募を歓迎します。